

第4群（精神・行動障害）

<選択のポイント>

- ・「精神・行動障害」とは、社会生活上、場面や目的からみて不適切な行動のこと。
- ・評価軸は全て「有無」

その行動の発生頻度でチェックし、介護の手間があるかどうかは問わない。

行動の発生頻度と介護の手間があれば、特記事項に記載する。

（4-12「ひどい物忘れ」は定義が「周囲の者が、何らかの対応をとらなければならないような状況」なので手間が必要）

入院等状態に変化があった場合は状態変化後の頻度で評価する。

「ある」 週1回以上、月4回以上、

「ときどきある」 月1～3回

「ない」 過去1か月（状態変化後）にはない。あっても月一回未満。

- ・聞き取った内容が調査項目の定義に当てはまるかどうか、調査員が評価・判断してください。
- ・全く同じ内容・意味合いで複数の項目を選択しない。

例1：盗られ妄想 4-1「被害的」と4-2「作話」の2項目を選択。

例2：介護への抵抗 4-7「介護に抵抗」と4-3「感情が不安定」や4-14「自分勝手に行動する」を選択。

- ・似ていても評価項目が違うもの。

例1：昔の話等を繰り返し何度も話す 4-5

一度教えてもすぐに忘れて、同じ事を聞いてくるので、何度も説明する手間がある。 4-12

- ・複数の定義に当てはまる行動を、一つの文中に合わせて記入することは良い。

例1：会話中に急に大声で怒り出す 4-3「感情が不安定」、4-6「大声を出す」、

例2：物を失くすと「盗られた」と言い、見つかると「誰かが置いた」と他人のせいにする 4-1「被害的」、4-2「作話」

- ・問題行動を予防する工夫により、行動がない場合はチェックしない。
- ・当てはまる項目がない場合は、近い項目に介護の手間を記入する。（審査会において手間を加味する材料になる。）

項目	定義・ポイント	対象外の例	特記事項文例
4-1 被害的	本人が、他者に何らかの被害を受けていると言う	・悲観的なことを言う。 ・他人のせいにする。「誰かが片付けた」「持っ て行った」と言う 4-2「作話」 ・介助者の推測。 本人は他人が盗った思っているのではないが ・浮気妄想や誇大妄想等。	「物を盗られた」「食事をもらえない」「食事に 毒を入れられている」「意地悪をされている」「悪 口を言われている」等と言う。
4-2 作話	事実ではないことを言う 自分の失敗を取り繕うことも含む。 4-1「被害的」とは区別すること	診断のついている幻聴・幻覚はチェックはせず、 特記事項への記載のみにしてください。	・実際は行っていないのに「家事は全て自分が行 っている」と言う。 ・（自分の失敗を認めず）他人のせいにする。 ・配偶者が浮気していると言う。 ・亡くなっている人物が訪ねて来た等と言う。
4-3 感情が不安定	感情が不安定（悲しみや不安等）な為に、 場面にそぐわない状況で泣く・怒る・感情 的にうめく等がある。 場面にそぐわず、激しく、不自然なほど 長時間持続する等	・妥当な理由がある場合 ・感情不安定であるが、場にそぐわないような 感情の表出には至っていない場合。 ・悲観的になる。不安を訴える。暗い顔をする。	（場面にそぐわず）怒り出す・泣き出す等
4-4 昼夜逆転	夜間に何度も目覚め、そのために 日中活動 できない。 日中行われる活動を夜間に行っている。	・夜間眠れない ・夜間トイレに行くので起きる ・単なる夜更かしな生活習慣 ・翌日の活動に支障がない ・昼夜問わず傾眠・ウトウトしている。	認知症で夜中に片付けや探し物をして、翌日はおき られず、朝食が取れない、デイサービスで眠って しまう等
4-5 同じ話を する	しつこく同じ話をする。 性格や生活習慣は含まない。 「話」=単語レベルではなく、ある程度 の内容（ストーリー）がある	・説明した事を忘れて何度も聞くので、説明を する手間がある 4-12「ひどい物忘れ」 ・相手がいないのに話している 4-13「独り言・独り笑い」 ・妥当な理由がある	昔話等（具体的な内容を記載）同じ話をしつこく繰 り返す。
4-6 大声を出 す	周囲に迷惑になるような大声を出す。	・性格や生活習慣等で元々声が大きい場合 ・妥当な理由がある場合	・場面にそぐわず大声を上げる。
4-7 介護に抵 抗	手を振り払ったりして介護に抵抗する。	助言に従わない、言っても従わない場合は含ま ない。	オムツ交換等介助の際に、手を払う、体を硬くする、 体をくねらせる等
4-8 落ち着き なし	家に帰りたいという意思表示と、落ち着き のない状態の両方があること。	帰宅願望、落ち着きない状態のどちらか一方の みの場合	「家に帰る」と言って、荷物をまとめる。家族に連 絡するよう要求する等
4-9 一人で出 たがる	一人で出ようとする行動があり、 目が離せ ない	・自由な外出を禁止されていない場合。 ・出ないような工夫がされ、防止できている	・玄関に行って鍵を開けようとするので目が離せな い。 ・施設で、訪問者が帰るのに着いて行きエレベータ に乗って外に出ようとする等。
4-10 収集癖	いろいろな物を集めたり、無断で持って来 る	・許可を得て貰ってくる。買ってくる。 ・昔からの性格や生活習慣で箱や袋・包装紙等 を捨てない	・施設の備品（ティッシュ・タオル等）を自室に持 って来てタンスにしまいこむ。 ・外出すると、ゴミ捨て場から雑誌を集めて持って くる。
4-11 物や衣類 を壊す	・物を壊したり、服を破いたりする ・壊れなくても破壊しようとする行動。 ・周囲の状況に合致しない、物を捨てる行 為も含む。	工夫の手間(壊れるものを傍に置かない等)によ り予防できている場合は「なし」	・物を叩いたり投げつけたりする。鋏で切る、踏み つける、力任せに引っ張る。 ・必要なもの（書類、家財、服等）を捨てる。
4-12 ひどい物 忘れ	物忘れによって何らかの行動がおこって いるか、周囲の者が何らかの対応をとらな ければならない状況。	・家族のことがわからない。新しいことは覚え られない等、対応がせまられる状況ではない。	・重要な書類等をしまい忘れ、介助者が再発行等の 対応が迫られる。 ・火をつけたことを忘れて鍋を焦がす。 ・聞いたことを忘れて何度も聞いてくるため、その 都度説明している。 ・置いた場所を忘れてしまい、自分では捜し出せず に家族が探さなければならない。

項目	定義・ポイント	対象外の例	特記事項文例
4-13 独り言・ 独り笑い	意味もなく、独り言や独り笑いをする	<ul style="list-style-type: none"> ・唄を歌う。 ・思い出し笑いやTVやラジオ等理由があって笑っている場合。 ・場にそぐわないとは言えない程度のTV等への相槌 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もいないのに、まるで誰かと話しているように独りでぶつぶつ言っている。
4-14 自分勝手に行動する	明らかに周囲の状況に合致しない自分勝手な行動	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な理由がある場合 ・性格的に「身勝手」「自己中心的」なものは含まない 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の都合にかまわず（対応）を要求する ・待つことが出来ず勝手に（帰ろうとする、歩き回る、騒ぐ） ・チューブや点滴等の自己抜去 ・オムツはずし、弄便、異食等
4-15 話がまとまらない	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容に一貫性が無い、話題を次々と変える、問いかけに全く関係ない話を続ける等 	<ul style="list-style-type: none"> ・独り言 ・単語程度しか話せない。（会話自体できない） ・昔から無口・話しべた・要領を得ない話し方である等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の途中で、話題が変わり話がまとまらなくなる。